

# 豚、イノシシ飼養者の皆様へ

## 「豚コレラ」と「アフリカ豚コレラ」の発生予防について

豚コレラの国内発生が続いています。

アフリカ豚コレラは、国内では発生していませんが、海外では中国全土に拡大し、モンゴル、ベトナムでも発生しています。

発生予防対策と毎日の健康観察、異常の早期発見・早期通報をお願いします。

### 豚コレラの国内発生状況

◆飼養豚、イノシシでの発生状況  
10事例(31農場、2と畜場、47,366頭)

◆死亡・捕獲イノシシでの確認状況  
211頭(岐阜県200頭、愛知県11頭)

※ ㊦～㊧ は、発生農場の関連農場又はと畜場



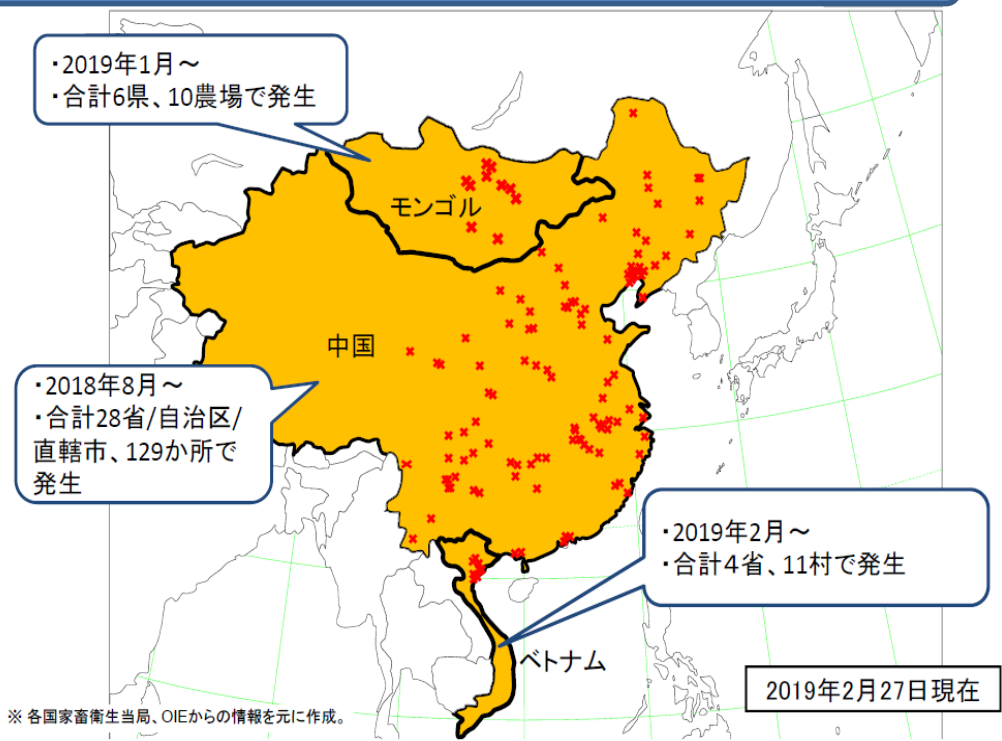
2019年2月28日現在

### 中国、モンゴル、ベトナムにおけるアフリカ豚コレラの発生状況

・2019年1月～  
・合計6県、10農場で発生

・2018年8月～  
・合計28省/自治区/  
直轄市、129か所で発生

・2019年2月～  
・合計4省、11村で発生



※ 各国家畜衛生当局、OIEからの情報を元に作成。

第5回拡大豚コレラ疫学調査チーム検討会(2月22日開催)において、これまでの発生を踏まえて、発生予防対策について以下のとおり検討されました。

### (1) 毎日の健康観察と早期通報

神経症状や死亡等の明確な臨床症状を示さない場合でも、発熱、元気消失、食欲減退、流産や結膜炎など豚コレラを疑う症状が認められた場合には、早期に家畜保健生所に通報することが必要。

### (2) 感染リスクがある地域の農場から豚を出荷する場合の対策の徹底

農場にウイルスが侵入してから症状になどにより豚コレラを疑うまでに1か月程度を要する可能性が高いことから、感染イノシシの生息している地域など、一定の感染リスクがあると認められる農場は、他の農場への豚の出荷に際し事前に検査を実施するなど、予防的な対策が必要。

### (3) 適切な洗浄・消毒の履行

農場や豚舎の出入口付近や周辺の消毒、出入りする車両の洗浄・消毒の徹底、手押し車などの器具類を豚舎外から持ち込まないようにするとともに、やむを得ず持ち込む場合には、洗浄、消毒を徹底し、豚房の中には入れないなどの対策や豚舎ごとの長靴や防護服の着用の徹底が必要。

### (4) 農場や施設内での豚の移動時の対策

豚舎間、施設内、農場間などで豚を移動させる場合には、消毒可能な移動用のケージの利用など、直接地面を歩かせることは避け、やむを得ない場合には、事前に通路を十分に洗浄・消毒することが必要。

## 予防対策の重要ポイント

農林水産省作成



#### ① 人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- ・人・物の出入りの記録
- ・飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ摂氏70度・30分以上又は摂氏80度・3分間以上の加熱処理を徹底

#### ② 野生動物対策

- ・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管